	課題分析	授業改善策
国語	【知識･技能】 〇全国学力･学習状況調査の結果から、意見と根拠など情報と情報との関係についての理解をみる問題に課題がみられた。 【思考･判断】 〇全国学力･学習状況調査の結果から、文章と図を結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することに課題がみられた。	【知識･技能】 〇授業で話合いや文章を書く活動をする際に、自分の意見とその根拠を明確にしてから活動に取り組めるよう、考えを整理する時間を設ける。 【思考･判断･表現】 〇文章を読む際に、図を読むだけでなくその図を用いた筆者の意図を考えさせることで、図と文章の関わりを客観的に捉える力を身に付けさせる。
社会	【知識･技能】 〇定期考査の結果から、知識･技能の定着度に大きな差が見られており、二極化している。 【思考･判断･表現】 〇自分の言葉で表現することや、学習内容を結び付けて価値を見いだすことが苦手である。	【知識･技能】 〇単元テストの内容を精選し、苦手意識をもつ生徒が達成感を得られるように基礎･基本問題を設定し、答えられるようにしたり、授業において重要語句は色を変えて示すことで分かりやすくしたりする。 【思考･判断･表現】 〇自分の言葉で表現する際にポイントやキーワードを示したり、身近な話題を取り入れて学習内容と関連付けたりして価値を見だすことができるようにする。
数学	【思考･判断･表現】 〇定期考査や全国･学力学習状況調査の結果から、基本的な知識を用いて、新たな性質を見いだしたり、それぞれの特徴を結びつけたりすることに課題がある。 【主体的に学習に取り組む態度】 〇全国･学力学習状況調査の結果から、「数学の勉強は大切だと思うか」という回答が都平均、全国平均から4ポイント低い。	【思考･判断･表現】 〇関連する知識から発展するような問題や結びつけるような問題を定期考査や単元テストに取り入れる。 〇授業では、学力向上支援講師を活用しながら、協働的な活動の時間を取り入れる。 【主体的に学習に取り組む態度】 〇基本的知識の定着を図るだけでなく、数学が日常生活と関連している話を取り上げる。数学的活動の楽しさを味わえるような授業を展開する。
理科	【知識･技能】 〇定期考査の結果から知識や技能の定着状況に大きな差が見られる。難易度を下げた場合、結果が二極化することが多いので、達成度が低い生徒には基本の定着への取り組みが必要にある。 【思考･判断･表現】 〇教科書に書かれている実験や観察はスムーズに行えるが、実験内容を考えたり、立案したりする力が弱く、考察などを書く力も身に付いていない。	【知識･技能】 〇定期的に小テストを実施し、生徒の達成度の把握に努め、授業内容に反映させる。また、学習の記録をタブレットで管理する。 【思考･判断･表現】 〇実験前にその目的や手順を確認し、実験中注目するべきポイントを理解した上で実験させる。考察すべきことを曖昧にするのではなく、具体的に、また焦点化することで苦手な生徒も書くことができるようにする。

音楽	【知識・技能】 〇授業の様子や歌唱テストの成績から、発声、発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら、他者と合わせて歌唱する技能に課題がある。 【思考・判断・表現】 〇定期考査の結果やワークシートへの記述内容から、音楽的要素や曲の背景と結び付けて考えたり、それを言葉や文章で適切に表現したりする力に課題がある。	【知識・技能】 〇発声練習や響きを感じ取る指導を継続的に行うとともに、発声法や身体の使い方の理論を適宜指導し、理解した上で歌唱させる。 【思考・判断・表現】 〇教材ごとの指導事項を明確に示すとともに、生徒が聴き取ったことや感じ取ったことを適切に表現できるようなワークシートを作成・活用する。
美術	【知識・技能】 〇授業中の様子から半数以上の生徒が道具の扱いに関する基礎的・基本的な技能が身に付いていない。 【思考・判断・表現】 〇授業中の様子から自分の作りたい作品のイメージを形にすることが苦手な生徒が見受けられる。	【知識・技能】 〇タブレットを用いて道具の使い方、技法を伝える。作品を拡大し、作者の細かなタッチを読み取れるようにする。 【思考・判断・表現】 〇動機付けに重点を置く。学年で優秀作品を参考作品として掲示しイメージの具現化についての事例を紹介する。
保健体育	【思考・判断・表現】 〇生徒一人一人が課題意識をもって取り組むことができているが、課題解決に向けた具体的な考えや行動をとることができる生徒は少ない。課題に取り組む行動力の育成が課題である。 【主体的に学習に取り組む態度】 〇何度も繰り返し練習をしたり、仲間と協力してグループ学習をしたりすることはほとんどの生徒ができるが、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整することに課題がある。	【思考・判断・表現】 〇どんな練習が課題解決に効果的かのヒントを多く提供し、それを選択する段階を取り入れることで、考えることが苦手な生徒も取り組みやすいようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 〇主体的に取り組んでいる好事例を提示し参考にできるようにすることで、活動量だけでない、活動の質を高めさせる。また粘り強く取組を行おうとしている姿やその取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする姿を適正に評価し伝えるようにする。
技術・家庭	【知識・技能】 〇定期考査、授業の様子から基礎的・基本的な知識・技能が身に付いていない生徒がみられる。 【思考・判断・表現】 〇自身の実生活に関連付けて課題を設定し、解決するという点においては達していない生徒がいる。	【知識・技能】 〇本時の目標を明確にし、実物見本や視覚的資料を用いて確実に理解できるように教材の工夫を行う。 【思考・判断・表現】 〇グループでの話合いの時間を設け、自分と他者の意見を比較し、考えを深め課題解決型の授業を展開していく。

外国語(英語)	【知識・技能】 〇定期テスト・単元テストの結果から基礎的な文法事項は定着してきている。ただし、学年が上がるにつれ、二極化になる傾向がある。 【思考・判断・表現】 〇文法事項を限定すると、英作文をすることができる。しかし、定期テストによると、場面や状況に応じて文法事項を選んで使う力はなかなかついてこない。授業中に発言を躊躇する傾向があるので、間違いを恐れず、積極的に意見を言う指導が必要である。	【知識・技能】 〇暗記だけではなく、何度も繰り返し行い、定着する力を身に付ける。 〇個人ごとにできることが違うので、あきらめることがないように、根気よく指導を続ける。 【思考・判断・表現】 〇常に場面状況を意識して、英語を使う指導をする。帯活動や classroom English を使い、状況に応じて適切な英文を使える力を身に付ける。